



お話しいただいたのは

近藤 嘉人先生

こんどーせんせいの 「こどもはスゴイ！」



オープンだからね！

4才の男の子。園の歯科健診でむし歯がみつかり、歯科の受診は初めてです。少しドキドキしながらも、待合室のおもちゃで遊んだあと、上手に診察できました。

治療の説明を聞かれた男の子のママは、嫌がつてできないのではと心配されたため、当日はそばに座つて様子を見てもらうことになりました。

ナイスタイミング

そして今日は初めてのむし歯治療です。この前と同じように、歯科衛生士が絶えず優しい口調で話しかけながら、歯磨きから始めます。

今回のむし歯治療には感覚をさえぎる部分麻酔が必要なため、始めに「表面麻酔剤」という粘膜の麻酔を歯ぐきに塗ります。塗る道具を見せての説明の中で、初めて見て驚いたのか男の子の肩が少し動いたのを、ママは見逃しませんでした。すぐには「だいじょうぶだよ」とママが男の子の手を包んでくれました。するとスッと肩の力が抜け

母子分離

以前の医療現場では

「母子分離」という言葉がまかり通っていました。

保護者がそばにいると甘えて診療がどこお

て、それからは、注射器を使う麻醉も、スムースにできました。

アタッチメント

幼児教育の現場では「アタッチメント理論」が広く浸透しています。「アタッチメント」とは「くっつく・接着」という意味で、「愛着」と訳されます。人が他者（保護者以外も含む）との間にきずく強い

きずなを指し、「安全基地」という考え方が基盤となっています。「安全基地」は、「探索」したあとで戻つてこられる「確実な避難所」となる人のこ

とです。基地から離れて外の世界を経験してまた基地に戻る、そのサイクルを積み重ねて人は成熟するのです。

ある実験です。赤ちゃんがおもちゃで遊んでいるのを、少し離れてパパが見て、します。しばらくしてパパがそっと部屋の外に出ると、パパが視界から消えたことに気づいた赤ちゃんは、遊んでいた手を止めて泣き出します。パパが部屋に戻り抱きかかると、赤ちゃんは泣き止み、安心してまた遊び始めます。

護者は別室に待つてもらいうものですが、別の見方をするとき、子どもが泣く様子を保護者の目から隠していた、とも言えます。今では、例えば採血でも、保護者に同室で見ていただく方がスムースにできるそうです。

男の子は、手鏡を見ながらすべてのむし歯治療がとても上手にできました。「えらいね！ママにギューッと抱きしめて、いっぱいホメてもらおう！！」

情報クリップ

『絵本はホスピタティの宝箱 エピソード33』全国の書店で発売中です！詳しくは「絵本の日」公式サイトまで。今月も待合室で絵本を楽しむ「げんきわくわくおはなし会」も開催します。詳しくは、受付にお問い合わせください。HPでも日程を掲載しています。



子どもの歯科

日曜日も
診察して
います

| | |
|------|---|
| 診療科目 | 小児歯科・矯正歯科 |
| 診療時間 | 9:00～18:30 (昼休み12:30～14:00) [休診]木曜・祝日 |

福岡市南区大橋3-2-1 大橋プラザ2F

092(551)8080

<http://kodomonoshika.com>